

編集:日本弁護士連合会
国際室

(主な内容)

- ・世界弁護士会事務総長会(IILACE)年次大会
- ・国際室嘱託の仕事～国際会議編～
- ・海外ロースクール推薦留学制度応募受付中！
- ・第6回 国際分野で活躍するための法律家キャリアセミナー

世界弁護士会事務総長会(IILACE)年次大会



世界弁護士会事務総長会(IILACE、International Institute of Law Association Chief Executives)の年次大会が2014年11月19日から22日まで南アフリカのケープタウンで開催されました。同会は、世界各国の弁護士会事務総長が集まり、弁護士会の経営や運営について議論する唯一の国際組織で、今回の年次大会には34団体の代表が参加しました。日弁連からは、荒中前事務総長が代表として参加されました。

世界の弁護士会には、弁護士を規制する弁護士会と利益代表としての弁護士会とが一国に別々に存在している場合も珍しくはなく、それぞれに事務総長が存在します。また、事務総長には任期が設けられていない弁護士会、あるいは任期が長期間に及ぶ弁護士会が数多く、これらの会では、事務総長の役割の一つを、任期の短い会長が効率的に施策を実現できるように弁護士会を知り尽くした立場からサポートすることと捉えていることは興味深い点です。

同年次大会では、毎年、弁護士の規制のあり方、法曹養成のあり方、弁護士会の運営にまつわる問題点などが議論されますが、今回は、これらに加えて専門家によるリーダーシップ研修も取り入れられ、事務総長のリーダーシップを高める実地研修も行われました。

南アフリカが生んだ偉大なリーダーといえば、弁護士で、アパルトヘイトと戦い、同国において「黒人」初の大統領となったネルソン・マンデラ氏がいます。大会2日目には、マンデラ氏がロベンアイランドに投獄されていたときに看守を務めたクリスト・ブランド氏による講話が行われました。同氏は、マンデラ氏の深い人間性に心を打たれ、規則を破って投獄中のマンデラ氏に孫を対面させたエピソードや、マンデラ氏が自由の身になった後も、マンデラ氏が亡くなるまで家族ぐるみの交友を続けたエピソードを語りました。

大会最終日は早朝から参加者全員フェリーでロベンアイランドに移動し、会場を移して会議が行われました。島では、マンデラ氏が、合計27年間に及ぶ投獄期間のうち、18年を過ごした刑務所や独房を見学し、またマンデラ氏もきっと眺めたであろう、ケープタウンに立つ雄大なテーブルマウンテンを眺め、同氏が「自由への長い道、Long Walk to Freedom」を歩んだ時間に思いを馳せました。

(国際室嘱託 竹内 千春)



マンデラ氏が投獄されていた刑務所の中庭



自由への道のりを象徴する壁の絵

国際室嘱託の仕事 -国際会議編-

国際室嘱託の業務は非常に多岐に渡り、いずれも弁護士としての通常業務では経験できないものばかりです。

ここでは、日弁連代表団の一員としての国際会議への参加業務をご紹介します。これは、法曹外交を通じた法文化の向上・国際化等の実現のために、日弁連の会長・副会長等の執行部が、海外で開催される国際法曹団体の会議や外国の法曹団体による国際会議に出席する際に、嘱託が通訳等を兼ねてアテンドするという大変重要な業務です。その際には、当該国際会議でのセッションを含む多様なイベントに日弁連代表団の一員として参加したり、他団体とのバイ会合を実施したりします。

国際会議に参加していると、小さな子連れの参加者を目にすることがあ

ります。会議の他の参加者も、会議室の片隅の席で普通に本を読んだり遊んだりして過ごしている子どもをごく当然のように受け入れています。日本では、「日本は子連れに冷たい」、「子どもを社会の一員として受け容れるシーンがもっと増えたら」という声に触れることができます。国際会議の場では、子ども・子連れに対する社会の寛容さ、あるいは社会全体として子育てを応援する土壤に基づく、成熟した社会を実感することができます。

このような国際標準の刺激を各面で受けながら、日本法曹の国際化に少しでも役に立つことができればとの思いを胸に、日々業務を担当させて頂いています。

(国際室嘱託 八木 哲彦)

海外ロースクール (公益活動・国際ビジネス法専攻)

推薦留学制度
応募受付中!

日弁連は、アメリカのニューヨーク大学、カリフォルニア大学バークレー校、イリノイ大学、イギリスのエセックス大学との間でそれぞれ協定を締結し、公益的な活動に取り組んでいる会員を推薦して、客員研究員またはLLMコース留学生（エセックス大学のみ）として派遣しています。さらに昨年度から、国際ビジネス分野における業務拡大のための人材育成の観点から、アジアで最も高い評価を受けている大学のひとつであるシンガポール国立大学(NUS)のLLMコース(国際ビジネス法専攻)への推薦を開始しました。同コースは、前期はNUSで開催され、コモンローの基礎や比較会社法といった基本的な科目の他、法学部の授業も受講でき、後期は華東政法大学(上海)で開講され、国際取引法、国際商事仲裁等の国際ビジネス法の他、中国の銀行法・会社法・証券法等が、いずれも英語で受講できます。

2016年度留学生の応募は、2015年8月31日が締切です。選考は、ご提出いただく書類と、面接(NUSは9月中旬、その他は10月上旬を予定)により行います。

詳しい応募方法・提出書類の雛型は会員用HPに掲載しています。たくさんのご応募をお待ちしています。お問い合わせは日弁連事務局国際課まで。(電話03-3580-9741)

■本年も開催予定! 第6回 国際分野で活躍するための 法律家キャリアセミナー

9月11日～
12日

日弁連は、2010年から年に1度、弁護士、社会人、法科大学院生等を対象に国際分野への関心を持つ法曹界の人材を育成するためのキャリアセミナーを開催しています。一人でも多くの方が国際分野への関心を持ち、国際的な舞台で活躍することができるよう、国際機関、途上国支援、国際法曹団体、国際関係委員会、インハウス等、法曹が活躍できるさまざまな国際分野を紹介するとともに、実際に第一線で活躍されている方々から、その経験や求められる人物像についてお話をいただきます。参加者それぞれが目指すキャリアに応じて、国際分野で活躍するプランを設計することができます。

本年は9月11日(金)～12日(土)に開催を予定しています。
※詳細は後日、日弁連HPに掲載いたしますのでご確認ください。